

福島第一原子力発電所の事故収束に向けた取り組み

福島第一原子力発電所における事故、および放射性物質の漏えいにより、地域の皆さまに大変なご心配とご迷惑をおかけしておりますことを、心より深くお詫び申し上げます。

4月17日に発表した事故の収束に向けた当面の取り組みについて、2ヶ月間の進捗状況をお知らせします。

基本的考え方

(変更ありません)

原子炉と燃料プールの安定的冷却状態を確立し、放射性物質の放出を抑制することで、避難されている方々のご帰宅の実現および国民の皆さまが安心して生活いただけるよう全力で取り組みます。

目標

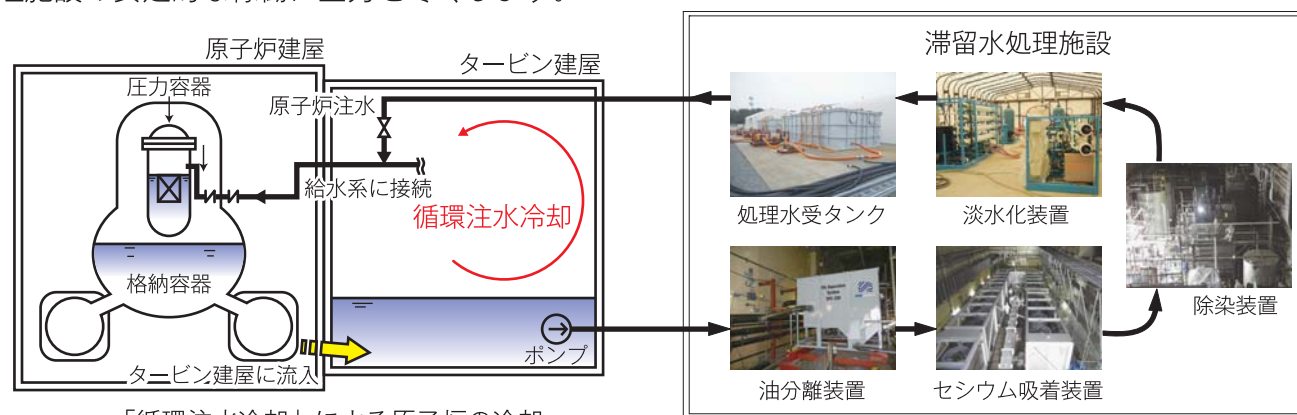
(変更ありません)

- ・ステップ1：放射線量が着実に減少傾向となっている（4月より3ヶ月程度）
- ・ステップ2：放射性物質の放出が管理され、放射線量が大幅に抑えられている（ステップ1終了後3～6ヶ月程度）

進捗状況（6月21日現在）

循環注水による原子炉冷却（滞留水処理施設の試運転中）

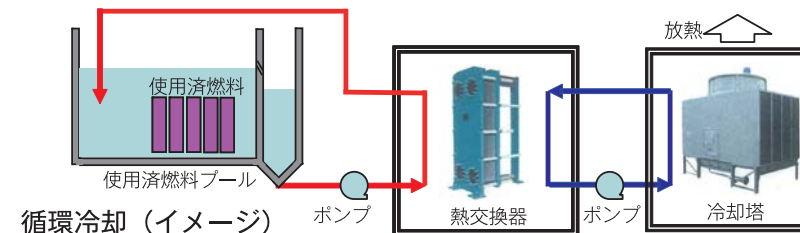
- ・ 建屋内の滞留水を処理して原子炉の冷却に用いることにより、現在約12万tある滞留水を減らします。
- ・ 配管布設等の工事が完了し、6/17に処理施設が稼働しましたが、初期のトラブルが発生。
- ・ 処理施設の安定的な稼働に全力を尽くします。



「循環注水冷却」による原子炉の冷却

使用済燃料プールの冷却（2号機の循環冷却開始）

- ・ 2号機は、熱交換器による循環冷却を5/31より開始し、水温が70℃から32℃まで低下。ステップ2まで前倒しで達成。
- ・ 1,3号機は、通常の配管からの注水を開始、安定的な冷却に到達（1号機：5/29、3号機：5/16）。
- ・ 4号機は、プール下部の強化工事中、今後1ヶ月を目途に安定的な冷却を目指します。



原子炉建屋カバーの設置（1号機の準備開始）

- ・ 放射性物質の飛散を防ぐために原子炉建屋外側に取り付けます。
- ・ 1号機は、準備工事に着手(5/13)。本体工事は6/27から開始予定。
- ・ 3,4号機は、6月下旬から準備工事に着手予定。



シミュレーション用CG

放射線管理・医療に関する課題対応（新規追加）

- ・ 個々の放射線と作業時間を厳格に管理。
- ・ 内部被ばくを評価する測定装置を増設予定。
- ・ 休憩所を増設、熱中症対策実施。
- ・ 所内に診療所を設置、24時間医師が常駐。



休憩所



医師による診断

引き続き、事態の収束に向けて全力を挙げて取り組んでまいります。